

【市長×高校生】松阪未来対談(高校生と市長の意見交換会)

人口減少の要因の一つに、転出超過による社会減が挙げられますが、特に進学や就職を目前に控えた高校生世代の転出が多い状況にあることから、松阪市に対する関心や市政への参画意欲を高める一つのきっかけとなることを目的に、「松阪未来対談(高校生と市長の意見交換会)」を開催しました。

松阪未来対談は、令和5年7月に市長が市内5校の高等学校を訪問し、地域の未来を担う高校生と若者定住をめざしたまちづくりをテーマに、高校生が思い描く松阪の未来や魅力について対談を行いました。ここで出た意見を、ワークショップ等でさらに内容を精査した上で、令和5年12月27日に提言書として市長に提出されました。

提言書には7項目の提言と23項目の具体的施策が記されており、一部抜粋して紹介させていただきます。

【提言1】

教 育 一人一人が専門性を持ち、更なる高みをめざせる教育

具体的施策

興味関心を引き出し、専門性を持てる教育
松阪や近隣市町への大学のキャンパスの設置・誘致
地域のリーダーとなる器の育成

【提言2】

雇 用 学んだことを生かせる、ライフスタイルを守れる職場の充実

具体的施策

企業の誘致や地元企業との連携で雇用を作る
バリアフリーの推進
専門知識・スキルを持った人材の働き口の確保
育休制度の充実や柔軟な労働時間にするための人材の確保やテレワークの推進
成果主義の導入

【提言3】

交 通 公共交通の充実

具体的施策

定額の交通サービスの導入
電車・バスの本数を増やし、学割を充実させる
電動キックボードの導入

【提言4】

景 観 住むだけにならない、フォトジェニックな景観づくり

具体的施策

SNSに上げられるフォトスポットを設置
ショッピングモールの誘致
松阪駅西の再開発などによる発展

【提言 5】

催し・娯楽・遊び場 心がはずむイベント・遊び場の創造

具体的施策

祭りなど行事へ若い世代が関わりやすくする
若い世代が関心があるミュージシャンのライブや有名人のイベントを開催

【提言 6】

注目度・広告・商品 スポットや商品をPRし、国内外からの注目度を向上

具体的施策

特産物を若い世代に向けてPRする
情報が広がりやすいSNSを活用した情報発信
芸能人、配信者※1、Youtuber、Vtuber とのコラボ
アニメや漫画の聖地化※2

【提言 7】

志 ホスピタリティ※3あふれる実家のようなまちに

具体的施策

公園の整備をし、子育てに優しいまちを作る
幼少期から地域の人々との交流を深める行事やイベントを行う
県外から来た人がまちの人の協力や色々な方からの支援を受けられるようにする

※1 テレビ・ラジオ・新聞・インターネット回線などの通信媒体を使って情報を配信する人のこと。YouTuberは、YouTubeで動画を配信する人。Vtuberは、2DCGや3DCGで描画されたキャラクター(アバター)を用いて主に動画を配信する人。

※2 漫画やアニメ、小説やドラマなどの作品の舞台など、縁の深い場所をファンが訪れるようになること。

※3 おもてなしの心を持って人を迎え入れること。

